

わたしたちは、G7大阪・堺貿易大臣会合を応援しています！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

- 4 質の高い教育をみんなに
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 17 パートナシップで目標を達成しよう

welcia ウエルシア薬局株式会社

この町のスクラップ屋さん 有限会社 朽木商店

堺化学 SAKAI CHEMICAL

ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺 株式会社 加地テック 堺アルミ株式会社

小学生版 標準対象学年:5年生 新聞記事を再構成、難しい漢字には読みがなをふっています

奈良の鹿 おじぎ減る

止まらぬ客

中学生版 標準対象学年:2年生 高校でも使いやすいです

新聞を基にした補助教材 新聞記事で読解力UP

よむYOMUワークシート

身近な話題 旬のニュースを知ること社会問題に興味を深め、自分の意見を発言できるようになります

1回約10分 朝学習や授業のはじめなど、カリキュラムの内容やレベルに合わせて使うことができます

学力UP! 書き手の意図や図表を理解するスピードが上がり、国語以外の成績UPにも効果的です

※2023年9月現在 全国の小中高860校15万人超が利用!

取り組み事例など詳しくはこちらから!

教育委員会、学校を対象に配信しています

●価格:児童生徒1人あたり300円 ●内容:半年15回(1回につき問題、解答・解説、関連記事、学習指導要領対応表をPDF配信。期間中はいつでもダウンロード可) ●問い合わせ:読売新聞教育ネットワーク事務局 ☎03-6739-6986 (平日10-17時)

確かな情報をわかりやすく

読売新聞 発行部数世界一!

読売KODOMO新聞 タブロイド判 20ページ オールカラー

読売中高生新聞 タブロイド判 24ページ オールカラー

1874年(明治7年)に創刊。スクープをはじめ、「責任ある言論」を旨とする社説、提言報道で社会を動かしてきました。

毎週木曜発行の小学生向け新聞。ニュース、図解特集、漫画、学習コーナーなどが充実し、親子で楽しく読めます。

毎週金曜発行の10代向け新聞。「10代が世の中を知る教科書」を目指し、ニュースからエンタメまで幅広くお届けします。

猫ピッチャーは、読売新聞日曜版で10年間連載中の漫画。左のQRコードで、こども堺G7新聞のアンケートに答えた方から抽選で50人に、10周年記念冊子とクリアファイルをプレゼントします!

読売新聞、読売KODOMO新聞、読売中高生新聞を無料でお試しできます。お申し込みはQRコードから。

購読は 0120-4343-81 [平日 9:00~21:00 土日祝 9:30~17:30]

こども世界G7新聞 Kodomo Sakai G7 Newspaper

～ G7大阪・堺貿易大臣会合～

読売新聞 Trade Ministers' Meeting in OSAKA-SAKAI



先進7か国の貿易を担当する閣僚が集う「G7大阪・堺貿易大臣会合」が10月28日、29日に大阪府と堺市で開催されます。自由で公正な貿易や経済安全保障について議論される予定です。

堺でこの規模の国際会議が開かれるのは初めて。国際貿易というテーマも、交易で栄えた堺の街にぴったりです。堺の「晴れ舞台」を前に、地元の小中学生7人が会合や堺の魅力について学ぼうと、永藤英機市長らに取材し、この新聞を作りました。皆さんも記事を読んで、楽しく理解を深めてください。

発行: 読売新聞大阪本社 後援: 堺市教育委員会

やってみよう! G7参加国のあいさつ

日本 首都:東京 主な言語:日本語

フランス 首都:パリ 主な言語:フランス語

イタリア 首都:ローマ 主な言語:イタリア語

ドイツ 首都:ベルリン 主な言語:ドイツ語

イギリス 首都:ロンドン 主な言語:英語

アメリカ 首都:ワシントン 主な言語:英語

カナダ 首都:オタワ 主な言語:英語

日本語の①～④が各言語の①～④と対応しています

① おはよう ② さようなら ③ こんにちは ④ ありがとう

① Guten Morgen ② Auf Wiedersehen ③ Guten Tag ④ Danke

① Good morning ② See you ③ Hello ④ Thank you

堺市教育委員会提供

G7サミットってなに？



ロゴは日本伝統の折り紙をモチーフに、ローマ字で広島の文字を入れています。7色の折り紙をGの形のクリップで束ねることで、結束を表しています。(岩崎記者)

世界をリードする先進7か国が中心となり、国際社会の重要な問題を話し合う会議です。7か国は、フランス、アメリカ、イギリス、ドイツ、日本、イタリア、カナダです。毎年、7か国と欧州連合(EU)のリーダーたちが集まり、解決策などを「首脳宣言」という文書にまとめます。

今年日本が議長国となり、5月に広島で開催されました。世界平和や核兵器を減らす方法などを話し合いました。

議長国は毎年、この記事にある順番で交代します。G7はGroup of sevenの略です。1975年に、オイルショックをきっかけにフランスで第1回が開かれました。日本での開催は今回で7回目です。

(岩崎記者、岡龍壺記者)



慰霊碑に献花する各国首脳ら(5月19日、広島市の平和記念公園で)

貿易大臣会合

G7サミットに合わせて開催される大臣たちの会議の一つ、貿易分野における国際的な課題を議論する会合です。日本は、経済産業大臣と外務大臣が出席します。

10月に開かれる今回の会議は、大阪府立国際会議場であり、堺は「ホテル アコーラ リージェンシー 大阪堺」で歓迎行事が開かれます。堺が持つ歴史、伝統、文化を世界に発信する機会になります。大阪・堺の魅力を伝えられる食べ物や工芸品といった地元産品を、約600件のリストにまとめるなど準備を進めています。(岡記者)



永藤英機市長にインタビュー



Q. 貿易大臣会合を堺市で開くことになった理由を教えてください。

A. 堺は大阪で2番目の都市ですが、G7関連の国際会議を開いたことはありません。世界をリードする七つの国の大臣が集まるわけですから、大阪府と一緒に誘致し、今回の開催が決まりました。(日下部光記者)

Q. 万博にどのようにつながりますか。

A. 今回の会合が、海外から多くの人たちに堺を訪れてもらうと同時に、2025年大阪・関西万博も見据え、日本の人たちが世界に関心を持つきっかけになればと思っています。大きなイベントを開催しただけで満足してはダメで、学んだことを未来にどう生かすか、未来に向けてどう行動するかが大切です。皆さんも、取材を通して学んだ海外との関係などを、どう未来につなげるのか、考えてみてくださいね。(浦野日南子記者)

Q. 会合に出席する人は、お互いの言葉がわかるのですか。

A. 英語を母国語や共通語にしている国が多いので、基本は英語で話すことになります。議論が白熱することもあるので、それぞれの国の言葉を専門にする通訳者も置くことになると思います。(岩崎記者)

Q. 会合を開催する意義は。

A. 400年以上前、貿易が盛んだった当時の堺から日本の情報が海外に発信されていました。しかし、現在の堺は、昔ほど知られていないかもしれませんが、会合に参加する国をはじめ、多くの人たちに堺を知ってもらう機会にもなり、開催には大きな意義があります。海外の人たちには「堺、大阪に来て良かった」と感じてもらいたいですね。大きな国際会議は、注目を集めます。堺のものづくりや食べ物などの魅力を発信して堺のことを広く知ってもらい、多くの海外の人に堺に行ってみたいと思ってほしいです。(金崎悠仁記者)

Q. 堺市の国際交流の取り組みは？

A. 堺は海外とのつながりで発展した都市で、今でも東南アジア諸国連合(ASEAN)など東南アジア諸国との関係が深いです。市内にはベトナムの総領事館など外国政府の人が仕事をする場所もあります。こうした人たちとも協力しながら堺の魅力を世界にアピールしています。また、他国との関係では、二つの姉妹都市と、二つの友好都市もあります。国際交流を大切にしながら、様々な文化や考え方にふれて、次の時代の堺をつくってほしいです。(中野志保記者)

Q. この新聞を読む子どもたちにメッセージをお願いします。

A. 今回の会合は貴重な機会ですので、まずは開催を楽しみにしてもらいたいです。学んだことや感じたことを、お友達や家族の中でも話題にしてください。テレビなどでも放映されると思います。ぜひ、私たちと一緒に会合を応援し、堺を盛り上げてください。(伏木莉記者)



岡記者撮影

堺の魅力、歴史を再発見!!

会合の舞台となる堺は、国際貿易の拠点として発展し、日本の繁栄に貢献してきました。子ども記者たちは堺市博物館を訪れ、交易の歴史や、今も息づく伝統などを調べました。

堺は古代から外国との交流を行いました。特に15世紀から17世紀にかけて、中国との「日明貿易」や「朱印船貿易」で交易拠点として発展しました。

1595年にヨーロッパで作られた日本地図には、堺の場所に「sacay」と書いてあり、重要な場所だったことを示しています。

日明貿易では、堺の港が使われるようになりました。その後、琉球王国(現在の沖縄)との交易や、琉球を通じた東南アジア貿易も行われ、堺の商人も各地へ航海しました。

キリスト教を伝えたイエズス会の宣教師フランシスコ・ザビエルは報告書で「堺は日本で最も富める町」「金銀の大半が集まる場所」と記しており、日本を代表する貿易都市だったことがわかります。

当時の日本は銀の産出量が多く、銀を求めるとポルトガル人が訪れていました。国際交流が進むとお金も情報も集まり、鉄砲の製造も盛んになりました。(岡記者、金崎記者)



展示品もいっぱい!



馬は5世紀に海外からもたらされました。貴重な動物だったので、当時の人は飾りをたくさんつけました。仁徳天皇陵古墳で、馬の頭部と鞍の大きな埴輪が見つかりました。当時の飾り付けの様子などを知ることができます。(伏木記者)

堺の技術を代表するものとして、須恵器と鉄砲があります。須恵器は4世紀末から5世紀初めにかけて朝鮮半島から伝わりました。窯を使い高温で焼いて作るのが特徴で、中身が漏れないので水を長期間ためたり、食べ物を発酵させたりすることができました。年代ごとに特徴が異なり、形から作られた時期を推測できます。須恵器の技術は他の地域にも伝わり、滋賀県の信楽焼や、岡山県の備前焼のルーツにもなりました。



鉄砲は1543年に種子島に伝わり、琉球王国と交易していた堺にも、もたらされたと考えられています。博物館には、現存する火縄銃で最大の「慶長大火縄銃」が展示されています。長さ3m、重さ135kg以上。徳川家康が大坂の陣に備えて作らせたものです。(岩崎記者、日下部記者)

1543年に日本に伝来した鉄砲が堺で作られるようになったのは、刀鍛冶など鉄を加工する職人が多く、優れた技術があったためです。交易でお金や情報が集まっており、火薬などの材料を手に入りやすかったことも鉄砲生産が栄えた理由でした。鉄砲作りが中止された明治時代に、技術をいかして、自転車の部品生産や修理産業が盛んになりました。(岩崎記者、中野記者、日下部記者)



人の埴輪は、5世紀の中頃に作られました。ちょうど堺の百舌鳥古墳群が作られたのと同じくらいの時代です。人の埴輪は髪形で性別が分かるようになっていました。男の人は「みずら」という少しパーマがかかったような感じで、女の人は「しまだまげ」という短くて平たい髪形が特徴です。巫女や琴を弾いている人など、様々な人をモデルにした埴輪があります。(浦野記者)

編集後記

小学4年 伏木莉記者

記者体験をして、とても楽しかったです。一番楽しかったのは、市長にインタビューをしたことでした。とてもドキドキしたけれど、市長の思っていることが聞けてうれしかったです。

小学5年 浦野日南子記者

子ども記者は初めて緊張しましたが、みんなとても優しく、楽しかったです。市長さんに会うのは初めてで怖い人だったらどうしようと思いましたが、優しく質問に答えてくれたので緊張がほぐれました。博物館の人たちの説明もわかりやすかったです。また機会があれば絶対にやりたいです。

小学6年 日下部光記者

聞いたことを文章にするのが難しかったです。カメラに興味があったので、本格的なカメラを使ったのは、いい経験になりました。記者ができてよかったです。

小学6年 金崎悠仁記者

市長は、私たちの質問に対して分かりやすく話してくれました。博物館の学芸員さんからも、詳しい説明が聞けて良かったです。初めての取材は、楽しかったです。

小学6年 中野志保記者

取材で市長の話聞き、多くの方が協力して貿易大臣会合の準備をしていることが分かりました。博物館では、須恵器や大きな火縄銃などの技術品を見てすごいと思いました。市役所展望ロビーから(堺市の町を)カメラで撮影したのも初めてで、珍しい体験ができました。

中学1年 岩崎詩織記者

カメラは、使い方が難しかったけれど、使っているうちに段々楽しくなってきました。堺市博物館でも鉄砲がどのように、どこから伝わったのかを教えてくださいました。貿易大臣会合や火縄銃、須恵器についてたくさん知れていい機会になりました。

中学1年 岡龍壺記者

初めて市長に会いました。質問に対して、とても丁寧に、わかりやすく答えてくれ、驚きました。堺を良くしたいと思って本当に市長になったのが、すごいです。新聞記事も書くことができ、とても貴重な体験でした。